

## 第 1 回協議会議論の中から各委員の問題意識や第 2 回目以降の課題について（まとめ）

## 1. 問題意識

- ・ 障害者といっても子どもから大人まで年齢に幅がある。
- ・ 視覚障害だけでなく聴覚障害や身体障害などそれぞれの特性に考慮して議論を深める。
- ・ 法律の整備やサービスの進化に合わせて、障害者サービスの内容の見直しが必要
- ・ 読書が困難な子どもにも読むことの楽しさ、知ることの喜びを味わわせたい。
- ・ デイジー教科書のような、子どもの事情に応じて利用できる支援が必要
- ・ 視覚障害者等という「等」の部分を考えて議論を深める。
- ・ 多様な調べ学習にも対応できる、多様な資料的ニーズ（触覚教材など）に応える必要性
- ・ 視覚や触覚など多様な特性に応じて利用できる資料の必要性
- ・ 障害者をとりまく社会の側に取り除くべき障害がある。図書館の資料提供のあり方に障害があると考えると、議論を深める。
- ・ 視覚障害だけでなく、発達障害やディスレクシアなど活字を読むことに困難な人を含めて議論を深める。
- ・ 外国にルーツがあつて、日本語を読むことに困難な人も含めて議論を深める。
- ・ 障害者サービスを通じて、社会に障害の所在や解消の必要性を伝えられる可能性
- ・ 障害者サービスを当事者以外にも知ってもらい、社会の認知度を高めていく必要性
- ・ 障害者サービスを支える人材を確保し、育成していく必要性
- ・ 図書館を利用しない理由は様々だから、それぞれの必要性や解決の可能性を考えたい。
- ・ 図書館利用や読書をしないことの原因をヒアリングを通して把握したい。

## 2. 課題把握

- ・ サービス対象をより詳しく理解する。市内の障害者を取り巻く状況や市の施策について
- ・ サービス対象のニーズをより詳しく理解する。
- ・ 障害者サービスの内容をより詳しく知る。
- ・ 障害者用資料（内容・種類）をより詳しく知る。
- ・ 障害者用資料の検索方法や図書館を利用する方法を知る。読み上げ機能やサピエ等も。
- ・ サービスを提供する図書館職員の現状認識を知る。

以上

## 【第 2 回協議会事前資料】

- ・ 障害者サービスの有効登録者数等の推移
- ・ 『第 6 期豊中市障害福祉計画・第 2 期豊中市障害児福祉計画』
- ・ 過去 5 年間の音点訳選定決定リスト
- ・ 音点訳ボランティア養成や図書館の職員体制について
- ・ サピエパンフレット

※図書館所蔵の障害者用資料については当日会場にて展示いたします。また youtube 動画「バリアフリー図書紹介動画」（公益財団法人 文字・活字文化推進機構制作 <https://youtu.be/cLdxAiBfbXM>）では、いろいろな種類の障害者用資料がわかりやすく紹介されています。